

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	勤労青少年ホーム創造の家	所在地	須坂市臥竜六丁目25番1号			
施設分類	社会教育系施設	所管課	文化スポーツ課			
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	926.92			
居住誘導区域	○	防災関連施設	○			
設置根拠	須坂市勤労青少年ホーム条例	設置の目的・経緯	勤労青少年の保護及び福祉の増進を図るため		交通アクセス	須坂駅から車で5分
事業内容	講座の開催及び施設の貸し出し等	貸付の有無	有			
管理運営の状況	指定管理	委託内容	施設の管理運営			
備考（その他特記事項）	2019年度の長寿命化基本設計では改修工事費177,540千円と試算					

2 建物の状況

階数 （主たる建物）	地上	2	地下		建築面積		延床面積	926.92
構造 （主たる建物）	集会所 RC造 トイレ W造			建築年度 （主たる建物）	集会所 1979年 トイレ 1991年	築年数 （主たる建物）	集会所 46年 トイレ 34年	
帳簿原価	142,640,780			耐震化の状況		耐震改修不要		
減価償却累計額	142,592,610			バリアフリー対応		×		
老朽化率	99.97%			省エネルギーの対応状況		一部照明LED化		
過去10年の改修費用	0			施設の劣化状況		建築、電気設備、機械設備とも劣化が激しい		
維持管理・更新投資の充足度	0.0%							

3 施設コスト

単位（千円）

		2023	2024	2025	3年間の平均値
費用	人件費	0	0	0	0
	委託料	0	0	0	0
	光熱水費	0	0	0	0
	維持補修費	467	1,982	147	865
	減価償却費	48	48	48	48
	指定管理料	12,831	14,273	14,755	13,953
	その他	881	1,407	0	763
	費用合計	14,227	17,710	14,950	15,629
収入	利用料等収入	0	0	0	0
	国庫補助金等収入	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	収入合計	0	0	0	0

142640780

収支	-14,227	-17,710	-14,950	-15,629
利用者一人当たりコスト	2.05	2.24	1.31	1.79

修繕履歴	金額	1,628	内容	2011年度 電気引き込み設備工事
		4,799		2011年度 トイレバリアフリー化等改修工事
		1,232		2021年度 軽運動室床面修繕工事
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	特定の人（団体）に限定されている	
開館時間	平日	午前9時から午後10時
	休日	午前9時から午後10時
休館日	日曜、祝日、12月29日から翌年1月3日	
駐車場の有無	有	

	2023	2024	2025	3年間の平均値	平均と2025の比較
年間利用者数	6,925	7,901	11,424	8,750	31%
年間利用可能人数					
利用率					
（参考）年間目標利用人数	10,000	10,000	10,000		
2023年度年間利用 日数 2024年度2025年 度年間利用時間 （7部屋）	764	2,912	3,851	3,382	14%
2023年度年間利用 可能日数 2024年度2025年 度年間利用可能時間 （7部屋）	1,770	26,845	26,845	26,845	0%
稼働率	43.16%	10.85%	14.35%	12.60%	14%

公共施設評価結果シート

施設名施設名称	勤労青少年ホーム創造の家
---------	--------------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
合計		-1	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
利用者の多様性	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館稼働率	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
合計		0	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館稼働率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	C	-1	75%以上100%未満
耐震性能	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
バリアフリー	B	-1	車いすでの移動が困難
合計		0	

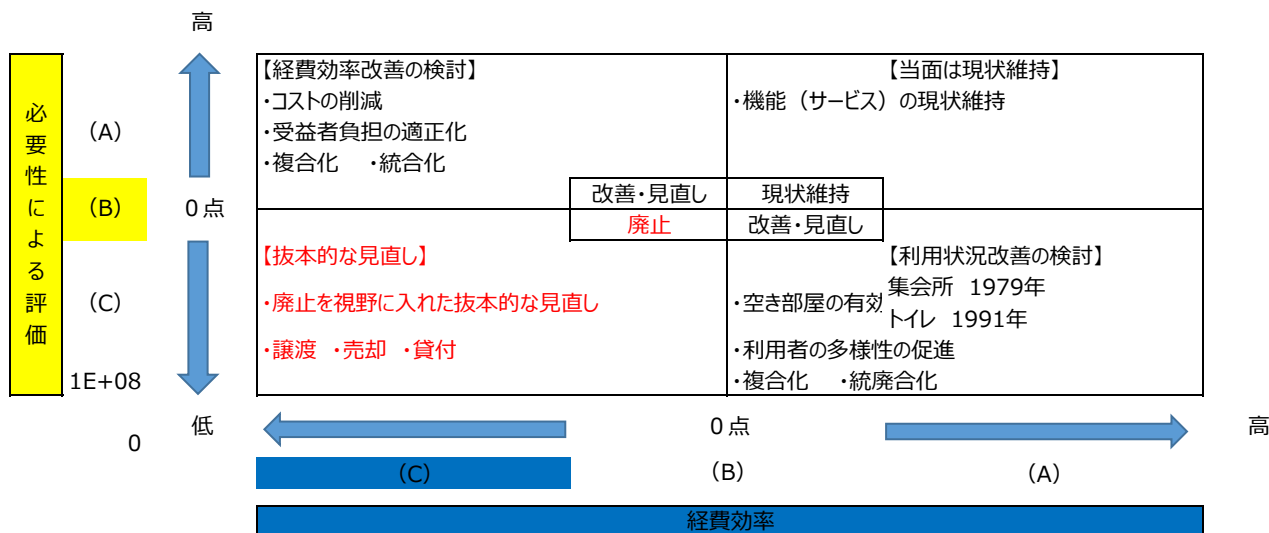
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	車いすでの移動が可能
	B	-1	車いすでの移動が困難

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	-1
縦軸	必要性による評価	0
	合計点数	-1

【抜本的な見直し】

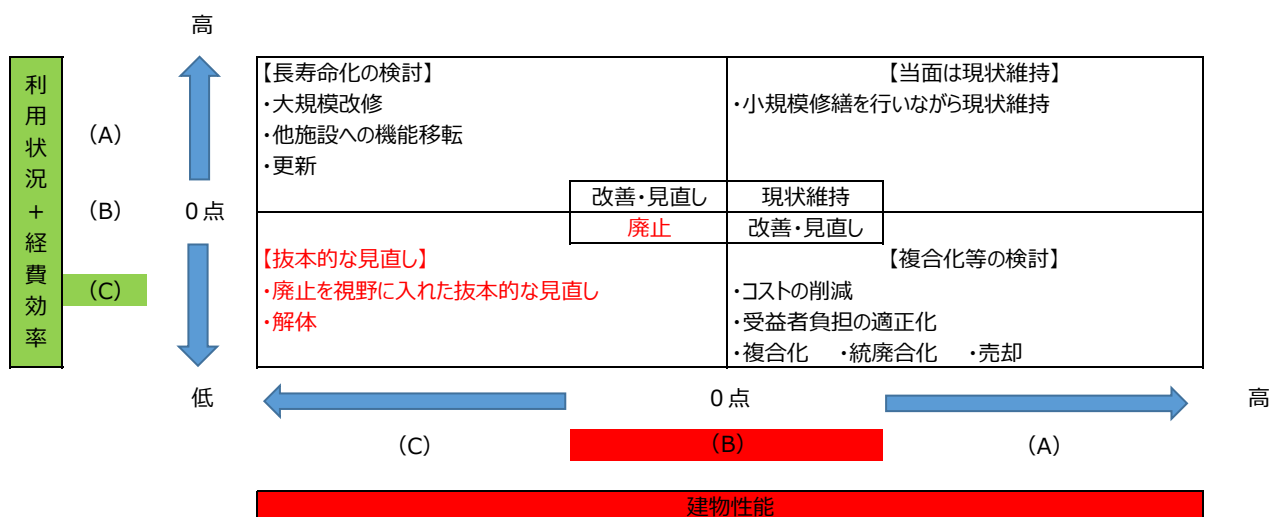


評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下

3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方角性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	0
縦軸	必要性和経費効率からの評価	-1
	合計点数	-1

【抜本的な見直し】



評価	説明
A	評価結果の集計点が、1点以上
B	評価結果の集計点が、0点
C	評価結果の集計点が、-1点以下